

児童虐待発生メカニズム



核家族化が進む中で、家族や親戚・地域の方々とのつながりが薄れてきており、大切な子育ての方法や心構えが若いお父さんやお母さんに伝わりにくくなってきています。そして、孤立したり不安や悩みなどを抱えながら子育てをしている方が増えてきています。

赤ちゃんは「泣く」ことで「お腹がすいた」「おむつがぬれた」「ねむたい」「どこかいたい」などを伝えていますが、親がそのことに気付いてあげないと泣き止みません。また、2～3歳になると、親の言うことをきかないことも多くなりますが、これは反抗期といってこどもが健全に成長していくために必要なことなのです。

こうしたことにイライラしたり悩んだりして、こどもが嫌いとか一緒にいたくないとか思ったり、たたいてしまったりすることが虐待のはじまりですが、これは、どんなお父さんやお母さんにも起こりうることで、そんなときは相談してください。

家庭の中だけで
悩まないで
相談してください

虐待を
見たり聞いたりしたら
連絡してください

そして
一緒に
考えながら
解決しましょう

このような行為が虐待です

身体的虐待

なぐる・ける・タバコの火を押しつける・戸外へ締め出す・体に傷が残ったり命に危険をおよぼすような暴力などをすること。

心理的虐待

言葉による暴力で、ひどい言葉でこどもの心を傷つけたりおびえさせたり、ほかのこどもと差別したりすることなど。こどもの前で配偶者への暴力が行われることも心理的虐待です。

ネグレクト

病気やケガをしても病院に行かない・食事を与えない・風呂に入れない・不潔な服を着せたままにする・車や家の中に置き去りにするなど、きちんとこどもの世話をしないこと。

性的虐待

性器をみせる・身体を触る・ポルノ写真を撮る・アダルトビデオをみせるなど、こどもに性的なことを強要すること。

このような虐待を長い間受けたお子さんは、心に深い傷を残したまま成長していきます。あらたな虐待を発生させないためにも、みんなで解決していきましょう。